学校番号	416

令和３年度　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「社会福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒に社会福祉への関心を抱かせるため、ＩＣＴ機器を利用し、かつ資料プリントなどを適時授業に投入する。さらにグループワークに取り組み、考えるために授業を投入する。また、コロナの中で昨年度から起こった時事問題なども取り込み、自分たちが生きている社会について関心を持たせる。定期考査前にはプリントで要点を復習し、生徒の理解度の定着を図りたい。

２　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

１　社会福祉に関する基礎的な知識と技術を習得し、社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の進展にどのような影響を及ぼしているか考える力を身に付ける。

２　現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解し、社会福祉の基本的な見方や考える力を身に付ける。

３　対人援助のあり方や社会福祉制度の基礎的な理解のもと、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付ける。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	社会福祉に対する関心を高め、福祉社会が抱える課題に意欲を持って目を向けるとともに、社会福祉の向上を図る創造的、実践的な態度を身に付けている。	社会構造の変容、ライフスタイルの変化がどのように社会福祉の進展に影響し、そこから派生する諸課題の解決に向け、創意あふれる考えを導き出し表現する能力を身に付けている。	社会構造の変容及びライフスタイルの変化と社会福祉の理念について資料、情報を適切に活用し、調査研究の場で的確にまとめる技術を身に付けている。	自立生活支援や社会福祉の考え方を把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに現代社会と社会福祉の関連性、社会福祉の理念と意義・役割を理解している。
評価方法	振り返りシート ノート点検 授業の取り組み	定期考査 授業の取り組み	定期考査 ノート点検	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	社会福祉の理念と意義	・生活と福祉 ・社会福祉の理念 ・人間の尊厳と福祉社会の創造	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：自立生活支援や社会福祉の理念について関心を高め、利用者本位の支援のあり方を追求する態度を身に付けている。 b：社会構造の変容、ライフスタイルの多様化に影響を受ける社会福祉の諸課題に向き合い、解決に向け適切に考え判断し、表現する能力を身に付けている。 c：社会構造の変容及びライフスタイルの変化と社会福祉の理念について資料、情報を適切に活用し、調査研究の場で的確にまとめる技術を身に付けている。 d：自立生活支援や社会福祉の考え方を把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに現代社会と社会福祉の関連性、社会福祉の理念と意義・役割を理解している。	ノート 定期考査
	社会福祉の歴史	・諸外国における社会福祉 ・日本における社会福祉	○ ○	○ ○	○	○	a：諸外国及び日本の社会福祉の歴史に対して関心を持ち、社会福祉の歴史的経緯について意欲的に追求する態度を身に付けている。 b：諸外国及び日本の社会福祉の歴史的経緯について思考を深め、それぞれの時代が担った意義・役割を適切に表現する創造的な能力を身に付けている。 c：社会福祉の歴史に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、調査・研究等をとおして考察した結果を的確にまとめる技術を身に付けている。 d：諸外国及び日本の社会福祉の歴史について基礎的な知識を身に付け、各時代が担った意義・役割を理解している。	ワークシート 定期考査

	単元名	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
2学期	社会福祉の意義	・社会保障制度の意義と役割 ・社会福祉と社会保障	○ ○	○	○	○ ○	a：生活を支える社会保障制度に対して関心を持ち、社会福祉の各分野の現状と課題を追求する態度を身に付けている。 b：生活を支える社会保障制度の概要について思考を深め、社会福祉の各分野の現状と課題に向き合うことで的確に考察し、表現する能力を身に付けている。 c：社会保障に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、調査研究の場で的確にまとめる技術を身に付けている。 d：生活を支える社会保障制度の概要に関する基礎的な知識を身に付け、各施策の意義・役割を理解している。	ノート 定期考査
	子ども家庭福祉	・子育て支援と保育 ・市町村と児童相談所 ・社会的養護と児童虐待 ・子どもの貧困とひとり親家庭の福祉	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a：児童福祉に対する関心を高め、子どもや親がかかえる課題に意欲を持って目を向けるとともに、児童福祉に携わる姿勢を意欲的に追求する態度を身に付ける。 b：さまざまな児童福祉の課題に向き合い、解決に向けて適切に考え判断し、表現する能力を身に付けている。 c：統計や資料を基に情報を適切に選択して活用し、調査研究の場で的確にまとめる技術を身に付けている。	ワークシート 定期考査

							d:児童福祉における諸活動、社会的養護の仕組みなど基本的な知識を身に付けるとともにそれぞれが持つ意義・役割を理解している。	
	障がい者福祉	・身体障がい者の現状と課題 ・障がい者の自立支援 ・知的障がい者の現状と課題 ・発達障がいをめぐる多様な課題と支援 ・精神保健と精神障がい	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	a:障がい福祉に対する関心を高め、さまざまな障がいに向き合う当事者や家族などに携わる姿勢を身に付ける。 b:障がいの偏見・差別、さまざまな課題に向き合い、解決に向けて適切に考え判断し、表現する能力を身に付けている。 c:社会における障がい者の歴史的な位置づけを資料から理解し、適切に活用してまとめる技術を身に付けている。 d:障がい福祉における基本的な知識を身に付けるとともにそれぞれが持つ意義・役割を理解している。	ノート 定期考査
	高齢者福祉	・介護保険制度 ・高齢者の在宅サービス ・認知症ケア	○ ○	 ○ ○	○	○	a:介護保険制度成立までの経緯、制度の概要について意欲的に追求する態度を身に付けている。 b:高齢者のケアやサービス関して思考を深め、それぞれが持つ意義や役割を考察し、表現する能力を身に付けている。 c:介護保険制度の変容、高齢者の暮らしと関わりについて、資料を活用し、まとめる技術を身に付けている。 d:生活を支える介護保険制度について基礎的な知識を身に付け、各施策の意義・役割を理解している。	ノート 定期考査

	単元名	学習内容	評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	生活支援のための公的扶助	・生活保護の種類と基準 ・生活資金の支援制度・ホームレスの自立支援	 ○	○ 	 ○	○ 	a:生活保護や自立支援の理念について関心を高め、利用者本位の支援のあり方を追求する態度を身に付けている。 b:生活保護制度の実施運営体制を理解するとともに、社会的背景から浮かび上がる生活保護の動向について考察し、表現する能力を身に付けている。 c:生活福祉資金貸付制度やホームレスの現状について理解し、調査研究の場で的確にまとめる技術を身に付けている。 d:社会保障制度の概要に関する基礎的な知識を身に付け、各施策の意義・役割を理解している。	ノート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。